

都市公園ワークショップ、楽しく終了

ニュースレターNO.85 で取り上げました、都市公園の見直しワークショップ、全4回が無事に終了しました。見直し後の活用が楽しみになってきたワークショップとなりました。

☆全4回のワークショップ

NO.85 のシンポジウムを算入すれば全5回となります。シンポジウムで課題を提起したり、都市公園の規制が緩和され、今まで実現が難しかったこともできるようになったりしたという可能性の広がる話題を提供していただきました。

続く4回では、コンセプト、ゾーニング、ゾーニングにふさわしい施設、公園の活用法を考えていきました。

☆ワークショップでは視察ツアーも！

施設を考えるときには、ワークショップ終了後、参加者のリクエストから、急遽、今回廃止されるプール視察ツアーを開催しました。現地を見ながら、現状を説明されたり、土地の傾斜を体験したりして、どんな施設がふさわしいのかについての認識が深まりました。

また、今回は見直し対象のエリアではなかったものの20年以上経ち、修繕するのにか？廃止してしまうのか？を自治体側が迷っていたマレットゴルフ場の視察ツアーを盛り込み（これも急遽）、アンケートを取ることも行いました。

参加者、自治体側のお互いのリクエストを聞きあい、提案しあって現地を確認しながら進めるというお互いが歩み寄る、協働で進めるワークショップとなりました。

☆ワークショップのまとめでは

4回のワークショップでのまとめのシーンでは、みんなで一つの公園について考え、それをまとめるとこんな公園のイメージだね、というのをワークショップのまとめのシーンで共有できるようにデザインしました。

すると次回の議論は、納得の下に始められます。

お互いの信頼の下で進めるワークショップ。この公園をこんな風に使おう！こんなことしたい！こんなことできそう！と期待が膨らんで終わることができました。

☆現地を見るのは大切だということを改めて、感じました。新しいスポットも見つかりました。

「連理の枝」というのがあります。お互いに独立した木なのに枝がつながっているという絆が続くという象徴になっています。これが見つかりました！

